

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社 平林工務店)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			差別の禁止について周知するための活動(ルールブックの読み合わせ、ポスター掲示等)が実施されている。また、従業員に対し個別面談を行い差別がないことを確認している。						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3												16.1 16.2 16.7
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			ハラスメントの禁止について周知するための活動(ルールブックの読み合わせ、ポスター掲示等)が実施されている。また、従業員に対し個別面談を行い差別がないことを確認している。						5.1 5.2 5.5			8.5 8.8													16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			年次有給休暇の取得や労働時間を適切に把握し、必要に応じて是正措置を行っている。									8.5 8.8														
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【非該当】		現状外国人労働者を雇用していないが、雇用することとなった場合、社内規定により差別の禁止を掲げる。				4.4					8.7 8.8		10.2 10.3												
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			管理者の設置を行い、定期点検や危険を伴う作業の際は声掛けをして注意喚起を行っている。			3						8														
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			健康診断を毎年実施している。また、従業員が悩みを相談しやすいアットホームな雰囲気づくりを心掛けている。			3																				
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	【非該当】		土木工事や外構工事等危険な作業もあることから、女性、障がい者、高齢者等の雇用は難しい。					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3												
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			業務に関する資格取得サポートを実施している。				4	5.5				8	9													
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			正規雇用者と非正規雇用者の職務内容と責任度合いを把握し、雇用形態にかかわらず職務内容と責任度合いに応じた賃金・福利厚生等の待遇を設定している。また、IT機器ツール導入による業務効率化と生産性向上により、従業員の給料の引上げを行っている。					5.5				8.5		10.2 10.3												
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			健康診断を毎年実施している。リスクがある場合、保健指導を受けるなどして健康維持に取り組んでいる。			3						8														
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			ゴミの分別を適切に処理している。また、裏紙の使用や両面印刷により紙の使用量削減に取り組んでいる。												11.6	12.4		14.1								
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			毎月の電力使用量を把握している。								7.3						13									
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			社内照明をLEDライトに変更し、省エネに対策をしている。								7.2 7.3					12.4	13.3									
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	【非該当】		弊社は法令等で規制されている有害化学物質を排出していないため。			3.9			6.3							11.6	12.4									

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			動植物の生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮して事業活動を営んでいる。						6.6							15				
16	【3Rの推進】 ・ リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			裏紙の使用や両面印刷により、紙の使用量削減に取り組んでいる。プラスチックは分別しリサイクルしている。PC機器の長期利用の促進に努めている。また、業務上におけるペーパーレス化を行いペーパー割合の削減に努めている。								12.5		14.1							
17	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			月々の水資源の使用量を把握し、各々が必要以上に使用しないように気を付けている。						6.4 6.6											
18	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【非該当】		環境マネジメント規格を取得していないため。			3.9			6	7			12	13.3	14	15				
19	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ		【予定】	インターネットを利用し情報を公開・発信していく。									12.6								
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	太陽光発電パネルの設置を検討する。						7.2					13						
21	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			出来る限り再生紙・リサイクル紙の利用に努めている。また、業務上におけるペーパーレス化を行いペーパー割合の削減に努めている。									12.2	13	14	15					
22	【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			汚職・贈収賄の禁止について周知するための活動(ルールブックの読み合わせ、ポスター掲示等)が実施されている。														16 16.5			
23	【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			不正な競争・取引の禁止について周知するための活動(ルールブックの読み合わせ、ポスター掲示等)が実施されている。														16			
24	【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本			知的財産につき他社の財産を侵害しないよう調査を実施している。								8.2 8.3	9								
25	【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本			個人情報については厳格に取り扱いを行い、個人情報保護に関する方針やルールがある。															16		
26	【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			材料に紛争鉱物がなことを取引先を通じて確認している。															16		
27	【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	サプライヤーやパートナーに対して、人権尊重や生物多様性の重要性、ハラスメント防止等の重要性を共有する。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・ 中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表する。				3				8	9	10						17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
 - 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
 - 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定